

H 2
H 81
H 82
H 83

数 学
日 本 史
世 界 史
政 治 ・ 経 済

この冊子は、**数学**，**日本史**，**世界史** 及び **政治・経済** の
問題を 1 冊にまとめてあります。

経営学科は数学，日本史，世界史，政治・経済のいずれかを選択
ビジネスエコンミクス学科は数学指定

数学の問題は，4 ページより 15 ページまであります。
日本史の問題は，16 ページより 36 ページまであります。
世界史の問題は，37 ページより 57 ページまであります。
政治・経済の問題は，58 ページより 73 ページまであります。

〔注 意〕

- (1) 試験開始の指示があるまで，この冊子を開いてはいけません。監督者から試験開始の指示があったら，初めに問題冊子のページ数を確認してください。ページの落丁・乱丁，印刷不鮮明等気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。
- (2) 監督者から受験番号等記入の指示があったら，解答用紙・解答用マークシートに受験番号と氏名を記入してください。
また，解答用マークシートに受験番号をマークしてください。
- (3) 数学，日本史，世界史，政治・経済のうち，1 科目だけを解答してください。
複数科目解答した場合は，採点されません。
- (4) 監督者から指示があったら，解答用紙と解答用マークシートの選択科目マーク欄に，選択した科目を必ず 1 つマークしてください。マークした科目だけを採点します。選択科目マーク欄にマークがされていない場合，又は，2 つ以上マークした場合は採点されません。
- (5) 試験開始後，選択科目をマークする場合はマーク忘れがないように十分注意し，確認してください。
- (6) 解答は，所定の解答用紙に記入したもの及び解答用マークシートにマークしたもののだけが採点されます。
- (7) 解答用マークシートに記載されている解答上の注意事項を，必ず読んでから解答してください。
- (8) 問題冊子は，試験終了後，持ち帰ってください。

日 本 史

1

古代の日本に関する次の文章を読み、(1)～(10)の設問に従って解答しなさい。

(25 点)

701 年に完成した大宝律令に基づいて、律令制度による統治が進められた。戸籍の制度により人々は管理され、^a様々な負担があった。757 年には、アが施行された。戸籍に基づいて人々の身分は良民と賤民に大別され、^b口分田が班給されたが、^c売買は許されていなかった。税として収められる品の多くは、平城京と諸国を結ぶために整備された道路を使って中央に運ばれ、^d荷札として木簡などが使われた。人々に課せられた税には、^e歳役もあった。この他に成年男子には、兵役も課せられた。兵士の一部は都で勤務する イ や、北九州の沿岸を守る大宰府で ウ となった。東北地方にも律令制による支配を進めるために、^f城柵が設置された。東北地方へは、しばしば平定のための軍が派遣され、国家財政や人々の大きな負担となった。

こうした中、律令制度の進展にともない口分田が不足し、^g開墾した土地の私有を一定限度認めたことから、土地公有の原則が完全に崩れた。その結果、貴族・寺院・地方豪族などによる大規模な私有地である初期荘園が、^h生まれるきっかけとなった。

(1) 下線部 a の負担のうち、律令制度下で女性が負担しなければならない税を下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 租
- 2 調
- 3 雑徭
- 4 庸

(2) ア に当てはまるものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 近江令
- 2 蓄銭叙位令
- 3 飛鳥浄御原令
- 4 養老律令

(3) 下線部 **b** の良民とされる身分を下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 官 戸
- 2 家 人
- 3 陵 戸
- 4 品 部

(4) 下線部 **c** の説明として誤っているものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 この道路により、都と国府の連絡は密接になった。
- 2 全国の道路にくまなく条坊制が導入され、道は網の目のようだった。
- 3 税を都まで運ぶ負担を運脚という。
- 4 道路には駅家が約 16 km ごとに設置され、馬を供給した。

- (5) 下線部 **d** の税として収める品の荷札として、和銅 3 年 8 月に利用された木簡に記載された文の抜粋が、以下である。文章を読んで、税として (A) に当てはまるものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、**解答用マークシート**の指定欄にマークしなさい。

若佐国小丹生郡 (A) 塩

- 1 租
- 2 調
- 3 雑徭
- 4 里

- (6) 東北地域に住むある家族の構成は、44 歳の夫と 41 歳の妻、その子供として 18 歳の男子 1 人、65 歳の夫の父親であった。この家族が、下線部 **e** に記載の歳役を提供する場合の総日数と一致するものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、**解答用マークシート**の指定欄にマークしなさい。

- 1 10 日
- 2 15 日
- 3 17 日
- 4 18 日

- (7) (イ) と (ウ) に当てはまるものを各々 1 つ下の 1～4 のうちから選び、**解答用マークシート**の指定欄にマークしなさい。

- 1 遙 任
- 2 衛 士
- 3 検非違使
- 4 防 人

(8) 下線部 f に関する説明として誤っているものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 桓武天皇は、坂上田村麻呂を蝦夷征伐のために東北へ派遣した。
- 2 行政機能や外交機能を持つ城もあった。
- 3 坂上田村麻呂は、鎮守府を多賀城から志波城に移した。
- 4 出羽の柵は最上川流域、秋田城は雄物川流域に設置された。

(9) 下線部 g の口分田不足の対策として行われたことのうち、時期が早いものから順に正しく並べられた番号を下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 百万町歩開墾計画 → 墾田永年私財法 → 三世一身法
- 2 墾田永年私財法 → 百万町歩開墾計画 → 三世一身法
- 3 三世一身法 → 百万町歩開墾計画 → 墾田永年私財法
- 4 百万町歩開墾計画 → 三世一身法 → 墾田永年私財法

(10) 下線部 h の初期荘園の説明として正しいものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 中央の貴族や寺院、地方豪族は、大規模な開墾を進めた。
- 2 政府から租税の免除を承認してもらう荘園が多かった。
- 3 所領を有力者に寄進して権威をつけることで、荘官となる者が現れた。
- 4 荘園の中には、国衙の使者の立ち入りを認めない特権を持つものもあった。

2

江戸時代中期から後期の政治・社会・文化に関する次の文章A～Cを読んで、
設問(1)～(9)に答えなさい。(25点)

A 1716年に家康以来の宗家が途絶え、徳川吉宗が8代将軍となった。吉宗は29年間の将軍在職中に、幕政の改革に取り組むために数々の政策を実行した。吉宗の在職中に行われた改革は、享保の改革と呼ばれた。その後、10代^a将軍家治の時代になると、側用人から老中になった田沼意次が十数年間にわたり実権を握った。

田沼意次が退いた後は、11代将軍家斉の補佐として松平定信が老中に就任した。そして、田沼時代の政策を改め、後に寛政の改革と呼ばれる幕政の改革^bに着手した。また家斉は、将軍職を家慶に譲った後も大御所として実権を握り続けた。しかし家斉の晩年、天保年間に入ると国内外で様々な問題が生じた。^c

- (1) 下線部 a について、次のⅠ～Ⅳの文章を読んで正誤の組み合わせとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- Ⅰ 大名から石高1万石について100石を臨時に上納させる上げ米(上米)は、1730年まで実施された。
- Ⅱ 旗本の人材登用にあたり、役職による基準高(役高)に満たないものが就任した場合、在職期間ばかりではなく退任後も石高を補う足高の制を設けた。
- Ⅲ 田安家・一橋家・清水家を合わせて三家といい、徳川將軍家の安定をはかった。
- Ⅳ 田沼時代に計数銀貨として南鐐二朱銀が大量に鑄造され、小判1両は8朱として換算された。

- | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Ⅰ | 正 | Ⅱ | 誤 | Ⅲ | 誤 | Ⅳ | 正 |
| 2 | Ⅰ | 正 | Ⅱ | 誤 | Ⅲ | 誤 | Ⅳ | 誤 |
| 3 | Ⅰ | 誤 | Ⅱ | 誤 | Ⅲ | 正 | Ⅳ | 正 |
| 4 | Ⅰ | 誤 | Ⅱ | 正 | Ⅲ | 正 | Ⅳ | 誤 |

- (2) 下線部 **b** の時代について、次のⅠ～Ⅳの文章を読んで正誤の組み合わせとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、**解答用マークシート**の指定欄にマークしなさい。

Ⅰ 一橋家出身の家斉が11代将軍となり、清水家出身の松平定信が老中として将軍を補佐した。

Ⅱ 林子平は、海国兵談において安房、長崎、越中の海岸防備の不備について指摘し、海防の急を説いた。

Ⅲ 幕府は1805年に関東取締出役、1827年に寄場組合を作らせ、幕府直轄地や私領の区別なく治安維持にあたらせた。

Ⅳ 改革政治を進める中で、棄捐令を出して札差に貸金を破棄させた。棄捐令は寛政の改革以降、出されることはなかった。

1 Ⅰ 正 Ⅱ 正 Ⅲ 誤 Ⅳ 正

2 Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 誤 Ⅳ 誤

3 Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 正 Ⅳ 正

4 Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 正 Ⅳ 誤

- (3) 下線部 c について、以下の資料は徳川斉昭が幕府に提出した戊戌封事の抜粋である。資料を読んで、以下の(ア)～(ウ)について正しいものを選択肢 1～3 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。また、(エ)について解答用紙の指定欄に記入しなさい。

一 然る処凶年にて百姓の餓死候をも見殺しにいたし武備は手薄く候て士民^{しみんだじやく}懦弱に相成り居り候故近年参州甲州の百姓一揆徒党を結び又は大坂の^{かんぞく}奸賊容易ならざる企て仕り

出典：徳川斉昭『戊戌封事』

(注)漢字は一部、常用漢字の表記を用いている。

- (ア) 参州甲州の組み合わせとして正しいものはどれか。

	参 州	甲 州
1	尾 張	上 野
2	駿 河	武 蔵
3	三 河	甲 斐

- (イ) 大坂の奸賊は何学の学者か。

- 1 陽明学
- 2 儒 学
- 3 国 学

- (ウ) 大坂の奸賊の影響を受け、越後柏崎で陣屋を襲撃した人物は誰か。

- 1 渡辺崋山
- 2 高野長英
- 3 生田万

- (エ) 国内問題に加えて国外問題が続いていた時代背景を表す語句を四文字で解答しなさい。

B 財政悪化を是正する試みは、幕府だけではなく諸藩でも行われた。幕府や諸藩の政策により百姓の暮らしが損なわれた時には、百姓は一揆を起し、要求を掲げるようになった。17世紀末になると、広域にわたる大規模な一揆も各地でみられるようになった。^d

寛政の改革^eでは、飢饉で危機に陥った農村再興により幕府財政基盤を復旧させると共に治安問題の解決を目指し、都市政策も改革の柱に置かれた。

天明の飢饉後、比較的天候に恵まれ農業生産はほぼ順調であった。しかし、天保の飢饉をきっかけに農業生産から米年貢を取り立てることを基礎とする幕藩体制は各地で行き詰まるようになった。諸大名の中には幕府権力からの自立の道^fを求め、財政再建と藩権力の強化を目指す藩政改革が行われるようになった。

(4) 下線部 d について、藩領全域に及んだ一揆を全藩一揆と呼ぶ。全藩一揆の組み合わせとして正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

1	嘉助騒動	元文一揆
2	嘉助騒動	郡内騒動
3	三河の加茂一揆	元文一揆
4	郡内騒動	元文一揆

- (5) 下線部 e について、次のⅠ～Ⅳの文章を読んで正誤の組み合わせとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

Ⅰ 打ちこわしに見舞われた江戸では、両替商を中心とする豪商を勘定所御用達に登用して、米価調節にあたらせた。

Ⅱ 人返しの法により、農村から江戸に流入し正業を持たないものに資金を与えて農村に帰ることを奨励した。

Ⅲ 七分金積立法を設けて、町費節約分の7%を積み立てさせた。

Ⅳ 火付盗賊改長谷川平蔵の献言により、石川島に人足寄場を設け、無宿人を強制的に収容し技術を身に着けさせようとした。

1 Ⅰ 正 Ⅱ 正 Ⅲ 誤 Ⅳ 正

2 Ⅰ 正 Ⅱ 誤 Ⅲ 誤 Ⅳ 正

3 Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 正 Ⅳ 正

4 Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 正 Ⅳ 誤

- (6) 下線部 f について、次のⅠ～Ⅳの文章を読んで各藩の取り組みの組み合わせとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- Ⅰ 村田清風は多額の借財を整理し、紙・蠟の専売制を改革した。
- Ⅱ 鍋島直正は均田制を実施し、本百姓体制の再建をはかった。
- Ⅲ 調所広郷は巨額の藩債を事実上棚上げにし、また、密貿易により収入を増やした。
- Ⅳ おこぜ組と呼ばれる改革派は支出の緊縮を行い、財政再建に努めた。

	薩摩藩	佐賀藩	長州藩	土佐藩
1	Ⅰ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ
2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅳ
3	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅳ
4	Ⅳ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ

(下書き用紙)

C 18世紀半ばになると商品経済の発展により、裕福な百姓や都市の町人たちが、都市生活者となった武家の中から学問や思想、芸術における文化の担い手が現れた。日本の古典をめぐる研究は、18世紀にはいると日本古来の道を説く国学として発達した。また、民間の私塾も各地に建てられるようになった。

また、江戸時代中期の文学は、身近な政治や社会の出来事を題材として始まり、出版物や貸本屋の普及もあって広く民衆のものとなった。しかし、改革の際には厳しく取り締まられることもあった。その後、18世紀末から表面化した幕藩体制の動揺を前に、現実を直視して古い体制の改革を模索する学問や思想の動きはさらに活発化した。

(7) 下線部 g について、次のⅠ～Ⅳの文章を読んで正誤の組み合わせとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

Ⅰ 荷田春満、賀茂真淵、稲村三伯、宇田川玄随は当時を代表する国学者である。

Ⅱ 塙保己一は幕府の援助を受けて和学講談所を設け、群書類従を編纂した。

Ⅲ 石田梅岩は心学をおこし商行為の正当性を説き、自然真営道を記した。

Ⅳ 大坂町人の出資を得て設立された懷徳堂では、富永仲基や中沢道二らの町人学者が育った。

1 Ⅰ 正 Ⅱ 正 Ⅲ 誤 Ⅳ 正

2 Ⅰ 正 Ⅱ 誤 Ⅲ 誤 Ⅳ 誤

3 Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 正 Ⅳ 正

4 Ⅰ 誤 Ⅱ 正 Ⅲ 誤 Ⅳ 誤

- (8) 下線部 h について、寛政の改革で取り締まられたものとして正しい組み合わせを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 洒落本 — 人情本
- 2 洒落本 — 黄表紙
- 3 人情本 — 合 巻
- 4 黄表紙 — 人情本

- (9) 下線部 i について、論者の主張を記した次の I～Ⅲの文章を読んで、論者と主張の正しい組み合わせを下の 1～3 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- I 商売を卑しめる武士の偏見を批判し、藩財政の再建は殖産興業によるべきであると主張した。
- II 西洋諸国との交易や蝦夷地開発による富国策を説いた。
- III 産業の国営化と貿易による重商主義を唱えた。

	海保青陵	本多利明	佐藤信淵
1	I	II	III
2	II	I	III
3	III	II	I

- 3** 北海道(蝦夷地)とその周辺地域における政治・社会に関する次の文章 A～C を読んで、設問(1)～(10)に答えなさい。(25 点)

A 旧石器時代、人々は打製石器を用いて狩猟と採集を行い、絶えず一定の範囲内を移動する生活を送っていた。旧石器時代の終わりの頃には、小型の石器も^a出現した。石器の原材料となる石は遠隔地から入手されることもあった。たとえば、十勝地方・白滝などを原産地とする **ア** が広範囲で交易されていたことが確認されている。

完新世になると海面が上昇し、日本列島は大陸と切り離された。日本列島に住む人々の生活も変わり、縄文文化が北海道を含む日本列島全域に及んだ。その後、紀元前 4 世紀頃になると、水稻農耕を基礎とする弥生文化が成立した。しかしながら、北海道では、狩猟・漁労を基礎とする文化が継続された。^b

- (1) 下線部 a に関連して、北海道の白滝遺跡や置戸^{おけと あずみ}安住遺跡などで発見された長さ 3 cm 程度の小型の石器を木や骨などで作った軸の側縁の溝に何本か並べて埋め込んだ石器として正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 細石器
- 2 尖頭器
- 3 ナイフ形石器
- 4 握 槌

- (2)

ア

 に当てはまる石器の原材料名として正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 硬質頁岩
- 2 サヌカイト
- 3 ひすい(硬玉)
- 4 黒曜石

- (3) 下線部 b について、この文化の名称として正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 貝塚文化
- 2 擦文文化
- 3 続縄文文化
- 4 オホーツク文化

B 14世紀頃、本州から北海道南部に和人が進出し、各地に居住地を作った。和人の進出は次第にアイヌを圧迫し、15世紀中頃、たえかねたアイヌは大首長を中心に蜂起したが、まもなく^{かきざき}蠣崎氏によって制圧された。この後、蠣崎氏は、北海道南部の和人居住地における支配力を強め、松前に拠点を築いてアイヌとの交易権を握った。近世になると、蠣崎氏は松前氏と改称し、江戸幕府からアイヌとの交易権を保証された。松前氏と家臣の主従関係は、特定場所でのアイヌとの交易権を家臣に与える イ で結ばれていた。

他方、江戸時代には全国で諸産業が発達した。松前では ウ が盛んに行われた。また、18世紀末頃からは、蝦夷地で獲れた物資を西日本へ輸送する エ も登場した。

(4) 下線部 c に関連して、15世紀から18世紀にかけての和人に対するアイヌの蜂起として古いものから年代順に正しく配列したものを、下の1～4のうちから1つ選び、**解答用マークシート**の指定欄にマークしなさい。

- 1 クナシリ・メナシの戦い — シャクシャインの戦い — コシャマインの戦い
- 2 コシャマインの戦い — シャクシャインの戦い — クナシリ・メナシの戦い
- 3 シャクシャインの戦い — クナシリ・メナシの戦い — コシャマインの戦い
- 4 シャクシャインの戦い — コシャマインの戦い — クナシリ・メナシの戦い

- (5) に当てはまる語句として正しいものを、下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 地方知行制
- 2 商場知行制
- 3 糸割符制度
- 4 場所請負制度

- (6) と に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

	ウ	エ
1	いわし漁	樽廻船
2	にしん漁	菱垣廻船
3	いわし漁	内海船
4	にしん漁	北前船

C 1800年前後，江戸幕府はロシアを中心とする外国からの危機に対応した。
d たとえば田沼意次は，ある仙台藩医の意見を取り入れ，最上徳内らに蝦夷地開
e 発やロシア人との交易の可能性を調査させた。

やがて19世紀中頃になると，江戸幕府は鎖国政策から転換して開国した。
開国後の動乱の最中，新政府軍と旧幕府軍の内戦が続いた。新政府は1869年
に蝦夷地を北海道と改称し，北海道に開拓使をおいて北方開発にも取り組むな
f ど，さまざまな改革を進めた。その一環として， オ 式の大農場制度や
畜産技術の移植のためにクラークを招き，札幌農学校を開校した。

(7) 下線部dについて，この時期の出来事として正しいものを，下の1～4の
うちから1つ選び，解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 エカチェリーナ2世の命により，ロシア使節レザノフが大黒屋光太夫ら
漂流民を届けるために根室に来航し，通商を求めた。
- 2 江戸幕府がロシア使節レザノフからの通商の要求を拒否したため両国の
関係が悪化し，幕府は対外防備増強のために一部の蝦夷地を直轄にして松
前奉行の支配下においた。
- 3 江戸幕府に樺太の探査を命じられた間宮林蔵が間宮海峡を発見し，樺太
が島であることをはじめて確認した。
- 4 江戸幕府は近藤重蔵や最上徳内らに樺太を探索させ，「大日本恵登呂府」
の標柱を建てさせた。

- (8) 下線部 e に関連して、ある仙台藩医の著作物として正しいものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 『国意考』
- 2 『赤蝦夷風説考』
- 3 『都鄙問答』
- 4 『北槎聞略』

- (9) 下線部 f に関連して、明治新政府による北方開発の記述として誤っているものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 士族授産の一環として屯田兵制度が設けられ、屯田兵はロシアに対する北辺防備をかねて軍事訓練を受けながら開拓を行った。
- 2 1882 年の開拓事業終了後、同年、開拓使を廃止して代わりに北海道庁をおいた。
- 3 開拓長官の黒田清隆が官有物を関西貿易社に不当に安い価格で払い下げようとしたが、問題となった。
- 4 政府は、ロシアと樺太・千島交換条約を締結し、ロシアに樺太の領有を認め、千島全島を領有した。

- (10)

オ

 に当てはまる語句として正しいものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 イギリス
- 2 アメリカ
- 3 ドイツ
- 4 フランス

4

第一次世界大戦前後の期間における日本の産業史に関して次の各問に答えなさい。

(25 点)

- (1) 表の農林水産業，繊維産業，鉱工業のデータ(実数と構成比)に着目するとき，第一次世界大戦の前後数十年間における日本の産業構造の変遷について，どのような事実が読みとれるか。解答用紙の指定欄に 120 文字以内で記述しなさい。

表：産業別生産額の推移(1885～1935 年)

(1934-36 年価格)									
	年	農林水産業	食料品産業	繊維産業	鉱工業	建設業	運輸・通信・公益産業	商業・サービス業	全 体
実数 (100 万円)	1885	2,038.0	1,607.9	163.4	340.4	231.5	78.7	3,264.6	7,724.5
	90	2,101.9	1,813.6	314.9	409.2	284.1	86.2	4,087.0	9,096.9
	95	2,182.4	2,003.6	495.4	527.7	345.0	136.1	5,003.8	10,694.2
	1900	2,447.4	2,261.2	538.1	673.7	446.6	218.6	5,054.5	11,640.0
	5	2,619.1	2,451.1	560.8	875.0	432.7	376.1	4,690.7	12,005.5
	10	2,911.4	2,749.4	786.1	1,214.8	687.5	640.3	4,896.1	13,885.5
	15	3,275.5	3,190.6	1,188.4	1,992.3	662.9	712.9	5,041.3	16,063.9
	20	3,528.8	3,749.5	1,662.8	2,858.2	881.2	1,312.5	6,310.9	20,303.8
	25	3,604.2	4,218.4	2,141.6	3,234.7	1,230.9	2,036.0	5,318.9	21,784.6
	30	3,811.5	4,388.2	2,872.0	4,574.1	1,325.8	2,549.1	5,963.2	25,484.0
	35	4,300.8	4,985.5	4,812.4	10,557.8	1,637.9	2,953.4	7,475.4	36,723.3
構成比 (%)	1885	26.4	20.8	2.1	4.4	3.0	1.0	42.3	100.0
	90	23.1	19.9	3.5	4.5	3.1	0.9	44.9	100.0
	95	20.4	18.7	4.6	4.9	3.2	1.3	46.8	100.0
	1900	21.0	19.4	4.6	5.8	3.8	1.9	43.4	100.0
	5	21.8	20.4	4.7	7.3	3.6	3.1	39.1	100.0
	10	21.0	19.8	5.7	8.7	5.0	4.6	35.3	100.0
	15	20.4	19.9	7.4	12.4	4.1	4.4	31.4	100.0
	20	17.4	18.5	8.2	14.1	4.3	6.5	31.1	100.0
	25	16.5	19.4	9.8	14.8	5.7	9.3	24.4	100.0
	30	15.0	17.2	11.3	17.9	5.2	10.0	23.4	100.0
	35	11.7	13.6	13.1	28.7	4.5	8.0	20.4	100.0

出典：深尾他編(2017)『日本経済の歴史 4 近代 2』岩波書店

- (2) 第一次世界大戦期において，なぜ日本では化学工業が急速に発展したのか。解答用紙の指定欄に 80 文字以内で記述しなさい。